

とみWA!

富山大学ダイバーシティ推進センター
NEWSLETTER

Dec.2025

富山大学学長賞 第9回「未知に挑む女性研究者賞」表彰式



学長、理事、センター長、受賞者の皆様

10月28日、富山大学学長賞 第9回「未知に挑む女性研究者賞」の表彰式を執り行いました。

本賞は、各分野において優れた研究成果を挙げ、将来的に国内外で高いリーダーシップが期待される女性研究者を顕彰することにより、女性研究者の研究意欲を向上させるとともに、本学ひいては我が国の学術研究の将来に資する人材の育成等を目指すものです。

表彰式では、斎藤学長から5名の受賞者（奨励賞3名含む）に賞を授与された後、学長賞受賞の2名による研究発表が行われました。斎藤学長からは「学問に対しては経験も性別も関係なく、平等であり優劣はない。今後も、社会実装され世に貢献できる研究を進めてもらいたい」と受賞者にエールが送されました。

受賞コメント

女性研究者部門



学術研究部薬学・和漢系
助教 周 越 氏

研究テーマ 「受容体型チロシンキナーゼEphA2の非定型的活性化を介したがん悪性化機構の解明」

この度は、富山大学学長賞 第9回「未知に挑む女性研究者賞」を賜り、大変光栄に存じます。斎藤滋学長ならびに選考委員の先生方に心より御礼申し上げます。

私は、受容体型チロシンキナーゼEphA2の「非定型的活性化」が、がん細胞の遊走や悪性進展を促進することを明らかにし、その詳細な分子機構を解明しました。本成果は、今後のがん分子標的治療の発展に貢献すると期待されます。今回の受賞を励みに、今後も研究に精進してまいります。

女子学生部門



理工学教育部
博士課程2年 許 位香 氏

研究テーマ 「深層樹状突学習及びその画像分類の応用」

この度、「未知に挑む女性研究者賞」を賜り、大変嬉しく、また光栄に思っております。斎藤滋学長並びに関係者の皆様、そしてご指導いただきました高尚策教授に深く御礼申し上げます。

私の研究は、深層樹状突学習を医療分野に応用することに焦点を当てており、特に医学画像分類に取り組んでいます。樹状突起神経理論に基づいて深層樹状突学習フレームワークを構築し、医学画像における複雑な細部や微細構造を正確に捉えることで、医学画像分類の精度向上を目指しています。この研究は、疾病の早期発見や診断精度の向上に寄与することが期待されます。今回の受賞を励みに、今後も未知の領域に果敢に挑戦し、より一層研究に精進してまいります。

富山大学学長賞 第9回「未知に挑む女性研究者賞」奨励賞 受賞コメント

女性研究者部門

奨励賞



附属病院薬剤部
助教 田口 憲美 氏

女子学生部門

奨励賞



総合医薬学研究科
博士課程1年 高桑 美帆 氏

奨励賞



理工学研究科 博士前期課程2年
サンピブーン ワンララック 氏

研究テーマ

「ファブリー病の病態解明

希少疾患に対する効果的な薬剤の探索と有効性の検証」

素晴らしい賞をいただき大変光栄に思います。

私は希少疾患ファブリー病の病態解明及び新規治療法の開発を主たるテーマとしています。ファブリー腎障害を示す新規モデルマウスを作製し、多尿の原因が腎臓質の太い上行脚（TAL）にあることを同定しました。また最近は、蓄積物グロボトリアオシルセラミド（Gb3）の多様なアイソフォームを区別できず、臨床診断や治療評価に誤差を生じていた問題に対し、Gb3をセラミドN-デアシラーゼを用いて脱アシル化することで区別する新手法を確立しました。

研究テーマ

「Shati/Nat8l プラスマドベクターの作製と、アミロイド β 毒性に対するShati/Nat8l を介したミトコンドリア機能の解析」

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、大変光栄です。日頃から支えてくださる薬物治療学研究室の先生方や、学生の皆さん、そしていつも見守ってくださる薬学部の先生方に心より感謝申し上げます。今後も積極的に学び続ける姿勢を大切にし、失敗を恐れず努力を重ねることで、着実に成果に繋げていきたいと思います。これからも新しいことに挑み、社会に貢献できる研究者を目指して研鑽してまいります。

研究テーマ

「Zn/Mg比が異なるAl -Zn-Mg合金の析出挙動」

この度は「未知に挑む女性研究者賞」奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。私は軽量で高強度なアルミニウム合金の研究を行っており、自動車などへの応用によるCO₂排出削減を目指しています。今後も環境問題の解決に貢献できる材料開発を進め、社会に役立つ成果を生み出せるよう努めてまいります。

第4回とやまレインボーデイを開催

10月12日、ダイバーシティラウンジ富山と共に、多様なSOGI（性自認・性的指向）について考えるイベントを開催しました。

第1部では、ダイバーシティラウンジ富山のなかがわ氏のレクチャーがあり、各地のパレードの特性やねらいを参加者に共有した後、レインボーハート富山のさわ氏より、「富山でのプライドパレード開催を目指して」と題した提案発表がありました。

第2部では、プライドイベントについての意見交換を行いました。参加者の安全やプライバシーを守る工夫の重要さや、何を一番の目的として実施するのが良いかなど、多くの視点から意見が交わされました。

ご参加いただいた皆様にとって、今日が少しでも有意義な時間となったなら幸いです。



富山大学は、本学に所属する教職員・学生が自分らしく生き生きと活躍できる環境づくりのため、多様な性的指向・性自認（SOGI）を尊重します。

- ・富山大学多様な性的指向・性自認（SOGI）に関する基本指針
- ・多様なSOGI尊重のためのガイドライン（教職員向け学生対応ガイドライン）も併せてご参考ください。

<http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/sogi/index.html>

Work-Life Balance

Smart Café in 医学系・附属病院 を開催

11月20日に開催された「Smart Café in 医学系・附属病院」では、「男性医師の育休」をテーマに、附属病院産婦人科の古田 悅先生と脳神経外科の丸山 邦隆先生より、体験談のご講演をいただきました。

また、特別講演として、富山西総合病院麻酔科部長の竹村 佳記先生より、ご自身のワークライフバランスについてご講演いただきました。ライフイベントと医療職の両立について考える有意義な時間となりました。



Smart Café in 工学部 ~でんでん女子座談会~ を開催

工学部工学科電気電子工学コースに所属する女子学生を対象とした座談会が開催されました。これは、同コースの1年～4年の学部生、研究室の大学院生が、大学生活に慣れるまでのことや就職のことなど、学年の枠を越えて相談できる毎年恒例のイベントです。ここで得た経験談やつながりを、これから的学生生活の役に立ててもらえればと思います。なお、でんでん女子座談会後、電気電子工学コースOGとの交流会も開催されました。



地域連携で「若年性認知症」について考えるイベントを開催

ふれあいカフェ実行委員（神明・五福地域包括支援センター・春らんまん五福・日和野）さまと一緒に、『若年性認知症』について考えるイベントを開催しました。

プレイベントとして映画「オレンジランプ」の上映会を10月3日に行い、10月8日には、若年性認知症当事者である丹野 智文氏（『オレンジランプ』主人公モデル）、山中しのぶ氏による、ご自身のリアルな体験談についてのパネルディスカッションのあと、認知症の人にも優しいまちづくりをテーマにグループワークを行いました。



ダイバーシティ推進研修（e-learning）を実施

育児・介護等の支援体制の理解と意識向上及び多様性に関する理解を深め、多様な人材が働きやすい環境の構築を目的とし、e-learningでのダイバーシティ推進研修を実施しました。全教職員を対象とし、妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント事例と防止策をテーマに学びを深めました。



科学の魅力や研究の面白さを伝える活動を行う女子学生プロジェクトチーム「スマート・ポリネーター」が活躍！

総曲輪レガートスクエア文化祭 に出展

11月2日に開催された「総曲輪レガートスクエア文化祭」に、科学クイズの参加型ブースを出展しました。研究紹介やポリネーターの活動紹介も行いました



「夢大学」に体験ブース出展

11月8日に開催された工学部・都市デザイン学部主催の「夢大学」にスマート・ポリネーターのブースを出展しました。

富山まちなか学生EXPO2025 に体験ブース出展

11月9日、富山市総曲輪グランドプラザで開催された「富山まちなか学生EXPO」にブースを出展し、参加者とレジンオリジナルキーホルダーを作成しながら交流し、活動紹介や研究紹介を行いました。また、富山県消費者協会と連携し「アクティブラーニング型消費者教育(SDGs)推進事業」として、従来のレジン液より低アレルゲンで食品衛生法適合の安心・安全なレジン液を使用して「つくる責任、つかう責任」を促し、消費者啓発も行いました。



どのイベントにおいても、多くの方が訪れる中、本学の取り組みを発信しつつ、ポリネーターのイベント企画・運営力を高める良い機会となりました。

今年度のダイバーシティ・シンポジウムは、東大の人気講師が富大にやってくる！



講師 瀬地山 角先生
東京大学大学院総合文化研究科 教授

笑って考えるジェンダー論 ～ジャンボ宝くじを必ず当てる方法？！～



12月24日(水)

14:00~15:30

五福キャンパス 黒田講堂

10年間子どもの保育園送迎を一手に担い、毎日の夕食作りを担当したジェンダー論の研究者。子連れで渡米し、父子家庭も経験した。日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで東大の人気講義No.1に選ばれたジェンダー論の講義は毎年500人以上が受講し、立ち見が出るほど。NPO法人の理事として保育所の運営にも参加。抱腹絶倒の講演で日本全国を行脚中。

※お申し込みはこちらのformsから：<https://forms.gle/ZQfCKse8uy1C8g2D9>

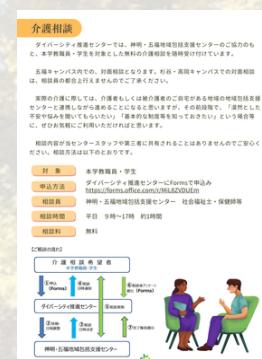
介護両立ハンドブックを人事課とダイバーシティ推進センターが作成しました

本学における介護両立支援制度や、介護お役立ち情報についてまとめました。

ぜひご一読ください。

※デジタル版でのみ発行

http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/kaigo/kaigo_handbook



令和8年度大学入学共通テスト時の保育支援を実施します

・休日に実施される入試業務に携わる教職員が、保育施設等を利用する場合の保育料を補助します。

対象：中学校就学前の子を持つ本学教職員

対象期間：大学入学共通テスト期間（令和8年1月17日(土)・18日(日)、1月24日(土)・25日(日)）

補助金額：1件の申請につき2万円を上限とする

※予算の範囲内において措置するため、応募状況により希望の金額を支給できない場合があります。

※保育施設等への申し込みと支払いは、各自で行って頂く必要があります。

※お子様の預け先が見つからない場合は、かたかご保育園をご利用頂くことができます。

（通常「かたかご保育園」を利用していない場合でも利用可、17日・18日のみ）

・所定の申請用formsにて、令和7年12月17日(水)までにお申し込みください。

forms URL：<https://forms.office.com/r/qQ8aMFFycB>



富山大学ダイバーシティ推進センター

Tel. 930-8555
富山県富山市五福3190 富山大学学生支援・地域連携交流プラザ2F
Tel. 076-445-6239 E-mail : smart@ctg.u-toyama.ac.jp

